



# まちづくり研究会ニュース

発行：JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

平成 26 年 4 月

## まちづくり方針(案)をとりまとめました。

3月22日(土)午前10時30分より、上宮川文化センターにて、第8回勉強会(平成25年度の最終回)を開催しました。当日は27名(市5名、コンサルタント3名含む)の参加があり、『JR芦屋駅南地区まちづくり方針(案)』としてのとりまとめについて話し合いました。

内容については、次ページ以降でお知らせします。

### プログラム

- ・ 前回勉強会のふりかえり
- ・ JR 芦屋駅南地区のまちづくり方針(案)のまとめ
- ・ 意見交換
- ・ 今年度の総括と次年度に向けて



### JR 芦屋駅南地区まちづくり方針(案)

#### 目次

1. はじめに .....	1
2. JR 芦屋駅南地区の状況 .....	1
3. JR 芦屋駅南地区の将来イメージ .....	3
4. JR 芦屋駅南地区のまちづくり課題 .....	4
5. JR 芦屋駅南地区のまちづくりの方向(案) .....	5
6. JR 芦屋駅南地区のまちづくり方針(案) .....	6
7. 今後の進め方について .....	8

平成 26 年 3 月

JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

# まちづくり方針(案)の内容について

『JR 芦屋駅南地区まちづくり方針(案)』は、勉強会で検討を行ってきた整備課題の抽出や整理、課題解決に向けた具体策についての議論、当地区の将来像実現に向けたまちづくりのあり方や方向性についてとりまとめたものです。

## ●まちづくりの方向(案)

まちづくりのテーマ(案)

ハイセンスで魅力的な生活環境の創出と発信  
～ 品格ある“芦屋”の創造 ～

### (1)「交通環境の再整備・強化」に関して

駅前広場周辺における歩行者の安全性を確保するとともに、駅へのアクセス性の向上や交通混雑の解消をめざし、関係する道路ネットワークや駅前広場の交通結節機能の強化により、駅前の交通環境の再整備を図ること。

### (2)「落ち着きやゆとりある駅前拠点の形成」に関して

芦屋の中心核にふさわしい玄関口として、住宅や生活利便施設等を中心とした機能の導入により、落ち着きやゆとりある環境を整え、ハイセンスで魅力ある駅前拠点の形成を図ること。

### (3)「“芦屋らしさ”の創出」に関して

駅南の拠点や駅前線等を中心に、お洒落な店舗や花・緑等、快適で品格のある街並みを連続させ、アメニティのある、歩いて楽しい回遊空間をつくることにより、芦屋らしい都市環境・景観を形成していくこと。

## ●まちづくり方針(案)

② JR 芦屋駅と南側街区を結ぶ歩行者動線を確保し、地区の利便性を高めること

④ 駅前広場の整備により交通結節機能を向上させること

⑤ 駅前線の拡幅整備により歩行者等の安全性を確保すること

⑩ 山・緑の眺望や景観を活かした環境を整備し、“芦屋らしい”まちのイメージを形成すること

⑧ 駅前線沿道での街並みや景観を形成し、お洒落な店舗等を誘導することにより、駅周辺の回遊性を高めること

※本まちづくり方針(案)は、あくまでも、地区のまちづくりの方向性に関する考え方を示したものであり、これまでの勉強会や意向調査では、地元地権者より、この内容にとどまらない多くの意見が出されている。今後は、こうしたことを踏まえ、市は、地元や関係機関とも十分に調整していただきながら、具体的な事業推進に向け、より詳細な検討を行うこと。

① 駅前広場及び駅前広場東線の整備により歩行者等の安全性を確保すること

③ 駅前広場東線と駅前線を接続して駅前広場の通過交通を排除するとともに円滑な交通処理を行うこと

⑥ 駅前拠点としてふさわしい機能の立地誘導を目指すこと

⑦ 駅前拠点としての機能立地に伴い生じる交通を安全・円滑に処理すること

⑨ 街並みと緑の景観の連続性を確保すること

## ●今後の進め方について

1. 本まちづくり方針（案）をステップとして、具体のまちづくりの計画案を定めていくこと。
2. JR 芦屋駅南地区かつ芦屋市の「価値創造」の事業として、以下に示す具体的な方策について追究すること。
  - ・「価値創造」に向けた、駅前の拠点形成と交通機能の一体的整備
  - ・交通結節機能としての駅前広場の創出
  - ・駅前拠点としてふさわしい機能の立地誘導
  - ・市民にとって便利で、集まることができる賑わい拠点の形成
  - ・駅と駅前施設との連続性の確保による、最大限の相互ポテンシャルの創出
  - ・駅前線の整備によるオープンスペースの連続性の確保と都市魅力の演出 等
3. 事業に関係する機関の協力を求めること。また、とりわけ JR 西日本の協力を要請すること。
4. 権利者にとって、これまでと同等の生活が継続できる条件を優先的に追究すること。また、地区内に残留を希望する権利者が「残れる条件」を追究すること。
5. ハードの整備だけで終わるのではなく、整備後も、まち（JR 芦屋駅南地区）が継続して相互連携が図れるマネジメントの仕組みを備え、持続発展可能な条件を追究していくこと。
6. 市は、早期事業化に向けて、事業推進に努めること。

### 【参加者の主な意見】（次ページに続く）

#### ○まちづくり方針図について

- ・示された「まちづくり方針（案）」は勉強会に基づく地権者の総意か。
- ・（コンサルタント）図のただし書にもあるように、あくまでも方向性を示したもので、勉強会では様々な案をいただいている。その概念を整理したものと理解していただきたい。詳細については次の段階で再検討していく必要がある。
- ・研究会の対象範囲は何軒くらいあるのか。
- ・（市）対象は約 60 軒である。
- ・その範囲に情報は渡しているのか。
- ・（市）「まちづくり研究会ニュース」として、毎号配布しており、駅前にも掲示している。
- ・まちづくり方針（案）では、地区には、「交通の課題」が多くあるとされているが、その具体的な解決策については示されないのか。
- ・（コンサルタント）交通課題については、駅前広場のあり方、望ましい JR 芦屋駅の駅前としてのたたずまいなどを見ながら、次のステップで検討していく必要がある。

#### ○事業について

- ・この事業に県は関係していないのか。
- ・（市）県を通して国の予算をお願いしている。来年 4 月からは調査費として国庫補助金をお願いしている。具体的な事業手法が定まれば事業費について国の補助金を申請していく予定である。
- ・スケジュールとして事業費がつくのはいつ頃か。都市計画にはどの程度かかるのか
- ・スケジュールについても教えてほしい。
- ・（市）都市計画決定の時期が、事業全体の工程を定める大きな要素となり、来年度、さらに具体的な検討を進めていきたいと考えている。今後、基本計画を作成しそれを受けて都市計画決定の手続きに入っていく。
- ・どうしても整備が必要な箇所（駅前線など）から進めていくなどは不可能なのか
- ・（市）全体像を考えたから、事業に取りかかる必要がある。しかし、事業手法が固まり、事業箇所全体の都市計画が定まれば、手のつけられるところから進めることは可能。

## 【参加者の主な意見】（続き）

### ○JR との協議について

- JR との直近の協議結果についてはどうなっているのか。
- (市) 来年度、JR として検討を進めると聞いており、市の行う検討と並行して進むことになるので、お互いに情報をやりとりして進めていくことになる。また、地元の状況も伝えながら進めていきたい。
- 是非 JR には「どうなるかわからないけど、とにかく一緒にがんばりましょう」などという意識を持ってほしい。
- 今後、そのために、こちらから署名活動なども行っていいのではないかな。

### ○来年度以降の検討について

- 検討を具体的に進めていくために、新しい組織づくりが必要となると思う。
- 検討の枠組みについては、新しい組織として、関係者を定めていく必要がある。今後は、具体的な内容を詰めていくことを目的に、検討を進めていきたい。
- そのためには、毎月1回の会合では、頻度が少ないかもしれない。開催頻度は、関係するみなさんの状況にあわせて決めていけばよいと考える。

## 今後の取り組みについて

今後、市には、私たち地元住民とともにより一層の議論を深めていくとともに、鉄道事業者やその他関係機関等との協議・調整も行いながら、本まちづくり方針（案）を基に事業の具体化を目指して、取り組みを進めていただきたいと望むものです。



**平成 25 年度の勉強会は計 8 回開催し、全て終了しました。  
ご協力いただきありがとうございました！**

まちづくり方針（案）の実現に向けては、これが終わりではなく、これからが、いよいよ“本番”となります。

つきましては、皆様におかれましても、なお一層のご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



### ■平成 26 年度まちづくり研究会総会のお知らせ

日時：平成 26 年 5 月 17 日（土）午前 10 時 30 分より

場所：上宮川文化センター 3 階 大会議室

議事（予定）：平成 25 年度の活動報告、収支決算報告

平成 26 年度の活動計画（案）、活動予算（案）

など



### ■お問い合わせ先

JR 芦屋駅南地区まちづくり研究会

（事務局） ☎659-8501 芦屋市精道町7番6号

芦屋市都市建設部都市整備課

☎ 0797-38-2074 FAX 0797-38-7974